

## 平成30年度 学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	67	学校名	牛久栄進高等学校				課程	全日制		学校長名	菅原 佐知子					
副校長名	君山 弘		教頭名	中澤 斉						主査兼 事務長名	大森 伸一					
教職員数	教諭	59	養護 教諭	1	常勤 講師	6				非常勤 講師	3	実習 講師	1	事務職 員	4	技術職 員等
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	148	172	134	184	147	175			429	531	24				

## 2 目指す学校像

情報通信技術や科学技術の劇的な進歩，国際化・グローバル化，更には超高齢化等急速に変化する社会にあって，それらに柔軟に対応できる力を育むと同時に，豊かな人間的資質を培い，自主自律の態度を養い，進取の気概あふれる創造性豊かな青年を育成する。

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
教科指導	生徒の教育的ニーズに応じ，単位制の特長を最大限生かした教育課程の編成，選択科目の講座の開講に努めるとともに，「少人数指導」「TT授業」も数多く実施している。「55分授業」により，「1分を大事にする授業」の意識も浸透してきている。また年次・教科それぞれが，指導の工夫・改善に取り組んでいる。	主体的・対話的で深い学びを実現するために，授業内容・教授法に関する研究・研修をさらに進める必要がある。具体的には，公開授業や研究協議，授業研修及び校外での研修結果の報告会等，校内外での職員研修を如何に充実させていくか。
特別活動	様々な学校行事への取組みにおいては，生徒たち全体が大変積極的に取り組んでいるが，生徒会や委員会活動への参加意識はまだ十分とは言えない。部活動は運動部及び文化部とともに，全国大会や関東大会など，よりレベルの高い大会への出場を目標にして活発に行われている。	生徒会・常置委員会，部活動の存在意義とその必要性について理解を深めさせ，生徒の自己管理能力を高めるとともに，自ら考えて積極的に行動する力の育成を如何に図っていくか。
生徒指導	基本的な生活態度は全体的によく身に付いており，礼儀正しく真面目な生活態度であるが，心因性の悩みを抱える生徒も一部に見られ，教育相談等を必要とする生徒は少なくない。	生徒同士の人間関係形成能力や規範意識の更なる向上，及び問題を抱える生徒の早期発見及び保護者・関係機関との連携を如何に

	また、交通事故，不審者遭遇等の発生件数は比較的減少傾向にあるが，今後も安全教育の徹底が求められる。	何に図るか。生徒に危機察知及び回避能力等を如何に身につけさせるか。
進路指導	ほぼ全員が進学希望であり，より高い進路目標の実現に向けてきめ細かな指導を行っている。平成30年春の国公立大学合格者数は現役119名で，国立大学医学部医学科など難関大学への合格者もでた。	一人一人の生徒の進路実現に向けて，如何にして学校全体における組織的協働体制を確立し，国公立大学100名以上の合格を継続しつつ，さらに如何に質的向上を図るか。

#### 4 中期的目標

<p>1 『活力ある進学校』</p> <p>一人一人の個性と創造性を最大限に伸ばす，『活力ある進学校』を目指す。</p> <p>2 『個に応じた学習指導』</p> <p>単位制のシステムを生かして，個に応じた，より深い探求学習を展開する。</p> <p>3 『自主自律の人づくり』</p> <p>主体的に行動し，自分の未来を自分自身で拓く，『自主自律の人づくり』を目指す。</p>
--

#### 5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
教科指導 ー 授業は真剣勝負 ー	ア 単位制のメリットを生かした教育課程の編成及び1分を大切にする授業の実施により，生徒の学力向上を図るとともに，主体的・対話的で深い学びを実現するため，教員研修を奨励し，授業研究及び授業改善を推進する。 イ すべての教科が連携し，学校全体で生徒を育てるという協働意欲を持って教育活動に取り組む。
特別活動 ー 部活動や生徒会活動の充実 ー	ア 学校生活における様々な活動をとおして自主的精神を養い，行動力を培うとともに，より良い人間関係の形成を図ることにより「生きる力」が育まれると考え，生徒の特別活動への参加を奨励する。 イ 計画から運営まで生徒が主体的に参画できる学校行事の充実に努め，生徒の能力を十分に生かした活力ある学校づくりを推進する。

<p>生徒指導      - 社会的責任を自覚し行動できる生徒の育成 -</p>	<p>ア 全職員の共通理解に基づいた指導を行い、学校生活全般において生徒の規範意識の高揚と道徳的実践力の向上を図り、自律性を育てる。      イ 生命の尊さを認識させるとともに、交通安全、不審者、ネット犯罪等を対象とする安全教育を重視し、生徒の危機察知能力、危機回避能力を高め、事故の未然防止に努める。</p>
<p>進路指導      - 生徒一人一人の特性を生かした指導 -</p>	<p>ア 本校は、今年度の大学入試結果において、国公立大学 119 名、私立大学は延べ 617 名の現役合格者を出している。今後も教員一人一人が進路指導力を高め、生徒の夢を高い次元で実現できるよう研鑽に努める。      イ 各年次と進路指導部内の「e-Top 推進室」が連携し、難関大学への進路希望実現に向けて情報提供及び学習指導の充実を図る。</p>
<p>国際理解教育の推進      - 国際交流と海外派遣 -</p>	<p>ア 国際交流事業を通じて生徒の視野を広げ、国際理解に努めることにより、グローバル社会で活躍できる人材を育成する。      イ 今年度はアメリカ合衆国への海外派遣を実施し、世界を肌で感じ、外から自分自身や自国を見直すことにより、異文化を理解し尊重するグローバル意識を育てる。</p>
<p>保護者及び地域社会との連携      - 積極的な情報発信 -</p>	<p>ア 学校ホームページや「栄進ホットメール」（学校・保護者・生徒を結ぶ携帯連絡網）、メディア等を活用し、牛久栄進高校の教育活動や学校の情報を積極的に発信する。      イ 保護者と教員が常に連携協力して生徒たちの教育に当る。      ウ オープンハイスクールや各種説明会、中学校訪問等を通じて牛久栄進高校についての理解をさらに深めていただけるよう努める。      エ 地元である牛久市主催の行事等に積極的に参加して地域との連携を強化し、地域社会の期待に応え、信頼される学校づくりに努める。</p>